

Service News 【サービス・ニュース】

OECD iLibraryを 引き続きご利用いただけます

世界最大のシンクタンクOECDからの報告書を、オンラインで閲覧できるOECD iLibraryを3月以降も継続してご利用いただけるようになりました。調べものや情報収集に、ぜひご利用ください。

【ご利用方法】 お持ちのパソコンやタブレットを使って、館内のLANからOECD iLibraryのサイトにアクセスしてください。無料でデータの閲覧やダウンロード(Excel、PDFなど)、保存をすることができます。※館内でのプリントアウトはできません

【ライブラリーアドレス】⇒ <http://www.oecd-ilibrary.org>

■ 専門図書館への入口講座

専門図書館の所蔵資料や効果的な使い方を学ぶ講座です。

第4回 「総計データの調べ方入門 ～総務省 統計図書館～」

▶ 3月29日(火) 18:30～19:30 (18:15開場)

第5回 「東京国立近代美術館 アートライブラリ」

▶ 4月22日(金) 18:30～19:30 (18:15開場)

各回ともに、■ 場所: 3階 ライブラリープラス(グリーンゾーン奥)

■ 定員: 10名 ■ 参加費: 無料

※事前申し込みは不要、当日は直接会場へお越しください。

バリアフリー映画会
上映作品『舟を編む』

今回、当館では初の試みとなったバリアフリー映画会。セリフの他に、場面の説明などの音声ガイドや日本語字幕が付くことから、御来場のお客様すべてに楽しんでいただけるかどうか、スタッフ一同期待と不安の中、当日を迎えました。幸い多くの方々にお越しいただき、障がいのある方、そうでない方、皆様最後まで熱心に鑑賞されました。「音声や字幕が適切」「普段とは違った楽しみ方ができる」などのお声をいただきました。



始めと終わりの挨拶は、手話通訳の方にご協力いただきました。



盲導犬のエドナも一緒に鑑賞しました。

わたしの一冊
『空白の五マイル』
チベット、世界最大のツアンポー峡谷に挑む

角幡唯介 著

ノンフィクション文学からしばらく遠ざかっていましたが、この本を読んで改めてノンフィクションの面白さを実感。人跡未踏の地を目指す著者の情熱、勇気、驕り、絶望が克明に記録され、著者自身の存在を賭けた過酷な冒険の旅が、秘境「空白の五マイル」目指して展開されていきます。そして著者が秘境の果てにみたものは……。推理サスペンス小説を上回るスリリングな展開に読み始めたらもう止まらない。貴方も著者と共にチベット奥地、ツワンポー峡谷への冒険の旅を始めましょう。

◆ 当館スタッフの推薦本を紹介します。◆ おすすめする人 ◆ 総務 経理部門 但木 勉

集英社 / 2010年
日本の若き冒険家の生と死の極限に挑んだ単独行の記録。開高健 ノンフィクション賞、大宅壮一ノンフィクション賞、梅村忠夫・山と探検文学賞受賞作品。

ZONE PICK UP 3F グリーンゾーン
【哲学・歴史・自然科学・技術工学】の本を集めたゾーン

「元気白書」 ～6/17(金)

世界保健機関(WHO)憲章には「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。」(日本WHO協会訳)とあります。身体や心が元気になるヒントを与えてくれる本など、肉体的な健康だけでなく多角的な視点から展示を行います。



【メンタルヘルス】

昨年の12月より施行された「ストレスチェック制度」に関する本などを取り上げています。



「国際ビジネス情報の入手方法」

～ジェットロ・ビジネスライブラリー～

国際ビジネス情報への関心の高さを表すように、会場は満席。ジェットロ・ビジネスライブラリーの充実した所蔵資料やデータベースをご紹介いただきました。過去のレファレンス事例もいくつか挙げながら、より具体的に利用イメージがつかめる内容で、ジェットロ・ビジネスライブラリーの魅力を知ることができた1時間でした。



「ヨミダス歴史館を使って80年代の東京へ」

講師: 今田 華央里 (読売新聞東京本社 メディア局データベース部 主任)

今回は、読売新聞記事検索データベース「ヨミダス歴史館」の使い方講座を開催しました。80年代の東京を検索事例に、クイズ形式の楽しい講座となりました。「ハウスマヌカン」「ボディコン」など懐かしい単語当てクイズや、財テクブーム・土地投機の記事を題材にして、懐かしくて新しい80年代を参加者の方々と振り返ることができました。



4月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン
「究極の安らぎ?—風呂・トイレ—」関連展示(～5/13)
風呂やトイレについて私たちが抱くイメージは、リラックスする場所、孤独な場所など、実に様々です。今回は、そんな風呂やトイレに関する資料を集め、ご紹介いたします。

3F ブルーゾーン
「ことば」(～4/15)
私たちがコミュニケーションを図るうえで欠かすことのできない言葉について、その深い世界を学ぶために、「知る」「伝える」「生かす」の3つの視点から関連本を収集し、展示しています。

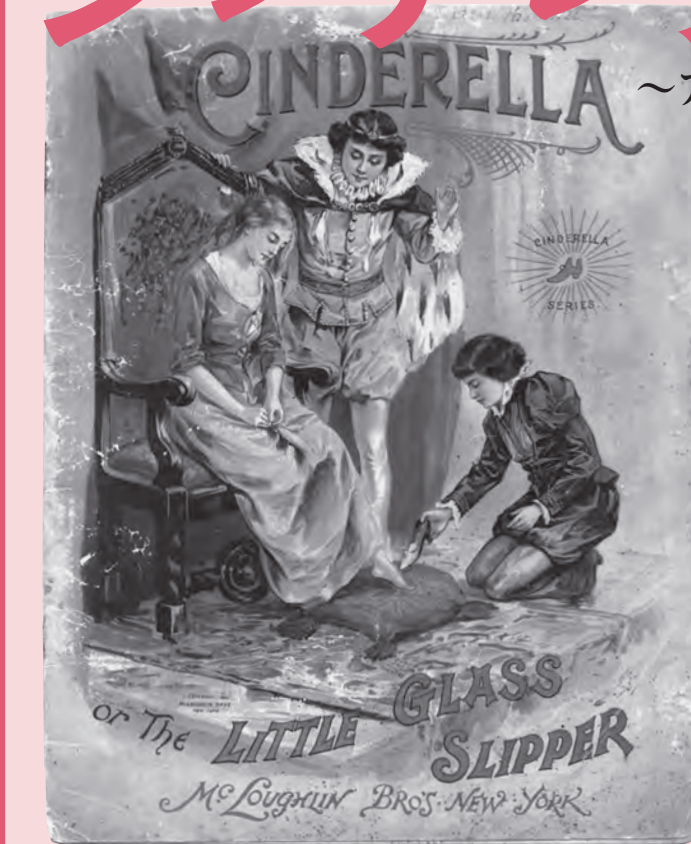
千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

特別展予告

かわたまさなお コレクション

シンデレラの世界展

～アメリカに渡ったシンデレラ・ストーリー～
ヨーロッパを中心に広まったシンデレラの話は、アメリカに渡り「夢に向かって着実に努力を続ければ、誰もが必ず成功できる」というアメリカン・ドリームを体現する物語として人気を博し19世紀アメリカで絵本の出版ブームを迎えました。本展では、アンティーク絵本のコレクターである川田雅直氏(株式会社アトランスチャーチ代表)の全面的な協力を得て、19世紀から20世紀中頃にかけてアメリカで出版されたシンデレラの絵本を中心にシンデレラの世界の貴重なコレクションを紹介いたします。今春、日比谷で繰り広げられる夢の世界へ是非お越しください。



▲McLoughlin Bros. 社版『シンデレラ』(1897年)

◆みどころ◆
貴重なシンデレラの絵本、関連グッズを日本初公開を含め約150点紹介

100年前の絵本に描かれたシンデレラのドレスを再現

撮影コーナー「あなたもシンデレラに!」を設置

▷主催: 千代田区立日比谷図書文化館 ▷特別協力: 株式会社アトランスチャーチ
▷協力: 文化服装学院(再現ドレス制作) ▷監修: 馬場 聡(日本女子大学英文学 准教授)

会期: 2016年 4/23(土)～6/22(水)

※休館日 5月16日(月)、6月20日(月)▷観覧時間: 平日10:00～20:00、土曜10:00～19:00、日祝10:00～17:00(入室は閉室の30分前まで)▷会場: 千代田区立日比谷図書文化館 1階特別展示室▷観覧料: 一般300円、大学・高校生200円 千代田区民・中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳をお持ちください。

関連イベント

- 1 Workshop ワークショップ**
「お花でシンデレラのドレスを作ろう」
◎日時: 5月19日(木) 13:00～14:30 (12:30開場)
◎場所: 4階 スタジオプラス(小ホール)
◎講師: 若林 佳子(押し花作家)
◎定員: 30名(事前申込順、定員になり次第締切)
◎参加費: 500円
- 2 Lecture&Talk Session レクチャー&トークセッション**
「シンデレラと出版文化」
◎日時: 6月4日(土) 14:00～15:30 (13:30開場)
◎場所: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
◎パネリスト: 馬場 聡(日本女子大学英文学 准教授)
李 佳欣(リー・チャーシン) (講談社 第六事業局 第一出版部 海外キャラクター編集)
川田雅直(絵本コレクター、株式会社アトランスチャーチ代表)
◎定員: 200名(事前申込順、定員になり次第締切)
◎参加費: 500円
- 3 Gallery Talk ギャラリートーク**
「ギャラリートーク」
◎日時: 4月30日(土) 14:00～14:30
◎場所: 1階 特別展示室
◎出演: 川田 雅直(絵本コレクター、株式会社アトランスチャーチ代表)、
◎定員: 30名程
◎参加費: 無料(特別展の当日利用券が必要となります)
◎申し込み: 不要 ※直接会場にお越しください。

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2016年 4月							2016年 5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: <http://hibiyal.jp>

access
都営地下鉄
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
東京メトロ
●丸ノ内線
●日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線
「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

4・5月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

▶参加申込:電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

4/6 (水) クラシック森羅万象～自然を描く名曲たち～(全2回) ーラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2016を前にー 第2回 19世紀のロマン派時代から近現代まで

講師:オヤマダアツシ(音楽ライター)

クラシック音楽の歴史においても、多くの作曲家たちが大自然に敬意を表し、鳥のさえずりや水の流れ、雷鳴などを楽器で表現するべくいろいろな手法を使ってきました。そうした作品を聴きながら音楽史の変遷や時代背景なども紹介。音楽の中に息づく自然の命を味わいます。(協力:東京国際フォーラム、ラックスマン、フォステクス、ナクソス・ジャパン)

■日時:4月6日(水)19:00～20:30(18:30開場) ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:500円



4/9 (土) ヨーロッパ・コミックスの冒険 ～出会いから現在までを語る～

講師:小野 耕世(映画・マンガ評論家)

フランス語圏で発行されるバンド・デシネ(BD)を始め、世界のマンガ文化圏の一角を担うヨーロッパ・コミックスについて、海外コミック研究の第一人者である小野耕世氏が、1950年代の出会いから歴史的な流れ、親交を得た作者たちとのエピソードと作品について、縦横無尽に語ります。

■日時:4月9日(土)14:00～16:00(13:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



4/14 (木)他 ファイリング・ゼミ ～仕事の効率が上がる ワンランクアップのオフィス整理術(全2回)

講師:小野 裕子(ファイリング・コンサルタント)

オフィス内のあらゆる文書・情報の整理のベースとなるファイリング・システム。その基本知識や取り入れ方などを豊富な事例やサンプル用品の使用で、実践的にコンパクトに学びます。(2015年6月3日・10日に開催した内容と同じです)

■日時:第1回:4月14日(木)19:00～21:00(18:30開場)
第2回:4月21日(木)19:00～21:00(18:30開場) ■会場:4階 セミナールームA(会議室) ■定員:24名 ■参加費:4864円(全2回分。資料代含む。各回の申込みは出来ません)



4/19 (火) 本を贈ることについて語る時に僕の語ること

講師:内沼 晋太郎(ブック・コーディネーター)

4月23日は「サン・ジョルディの日」。スペイン・カタルーニャ地方では「本を贈る日」として知られていますが、内沼氏は、「本を贈る」ことは一筋縄ではいかないと云います。カフェで「文庫本と飲み物」をセットにして出したり、売物の古本に自由に書き込みができるようにして「世界に一冊しかない本」として売ってみたりと、「本と人との出会い」を作るプロジェクトを次々と立ち上げてきた内沼氏が、自身の手掛けてきた仕事について紹介しながら、本を贈ることの楽しみと苦しみ、気を付けたほうがよさそうなお話について話します。

■日時:4月19日(火)19:00～20:30(18:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



4/20 (水) 江戸歴史講座 第38回 国芳とねこ ー動物愛と江戸絵画

講師:金子 信久(府中市美術館 学芸員)

現代の猫好きをもの苺きつけてやまない国芳のかわい猫。猫好きの心をくすぐる「深さ」や「ややこしさ」も大きな魅力です。そんな国芳の絵を分析し、それを生んだ江戸時代の人々の動物への愛や、さまざまな動物絵画についても眺めてみようと思ひます。

■日時:4月20日(水)19:00～20:30(18:30開場) ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民 500円)



「猫と遊ぶ娘」歌川国芳 個人蔵

4/25 (月) 世界の音楽 第5回 中央アジア・キルギスのコムズを聴きながら

講師:ウメトバエワ・カリマン(コムズ奏者)

天山山脈とパミール・アライ山脈に沿うように位置するキルギスは「山の国」です。「キルギス」という名称は旧ソ連時代に用いられたロシア語の発音で、正式にはクルグズ、またはクルグズ共和国と呼ばれます。そんなキルギスの伝統的な楽器コムズの音色を聞きながら、キルギスの人々の暮らしや文化に想いを馳せる夕べです。(協力:東京音楽大学民族音楽研究所)

■日時:4月25日(月)19:00～20:30(18:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



4/26 (火) 仏像の顔 ー形と表情の意味するところー

講師:清水 真澄(三井記念美術館館長)

仏像の前に立って、まず眼がいくのは顔でしょう。そして「何ともいえない顔していらっしやる」というつぶやきをよく耳にします。仏像の顔には、形としての「顔」だけでない、人の心に訴える何らかの意味があるはず。慈悲と「怒り」、仏像の種類や時代によって違う仏像の顔についてお話します。

■日時:4月26日(火)14:30～16:00(14:00開場) ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円



高徳院阿弥陀如来像(鎌倉大仏)

4/29 (金) ピースビレッジ 第41回 アドラー心理学【幸福の3条件】

講師:熊野 英一(株式会社子育て支援・代表取締役)

困難を克服するチカラを与える「勇気づけ」のコミュニケーションとは? 善かれと思つての言動が相手の「勇気をくじく」ことになりがちな背景には何かあるのか? 親子関係、夫婦関係や上司・部下の関係など様々な人間関係の事例を用いてアドラー心理学の要諦をお話したいと思います。(主催:NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)

■日時:4月29日(金)14:00～16:30(13:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:3000円



5/6 (金) 千代田区民講座 文化は国境を越える～映画「サンマとカタル」ができるまで～

講師:益田 祐美子(映画・コンテンツ製作プロデューサー、株式会社平成プロジェクト代表取締役)

かつて漁業で栄えたカタル国は、東日本大震災直後に基金を設け、宮城県の女川町に津波対策を施した冷凍冷蔵施設を建設しました。女川はサンマの水揚げで有名な町で、その御礼にとハラール(イスラム法上で食べることが許されている食材)認定のサンマの加工品を贈ることになりました。映画「サンマとカタル」関東地区上映の封切り前夜に、プロデューサーの益田さんが様々なエピソードを語ります。(主催:神田雑学大学)

■日時:5月6日(金):19:00～20:30(18:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:無料 ※4月5日(火)千代田区民受付開始。区民以外は4月12日(火)から受付開始。



5/14 (土) なぜ台湾ブックデザインが面白いのか? ー若手デザイナーの台頭が著しい 台湾グラフィックデザインの最新事情をまるっと語ります。

講師:藤崎 圭一郎(デザイン ジャーナリスト) 林 唯哲(グラフィックデザイナー)

聶永真、王志弘、小子などが注目され、いま活況を呈している台湾のブックデザイン界。その最前線を現地取材して、『T5台湾書籍設計最前線』という本にまとめた編集者の藤崎圭一郎と、同書の表紙デザインとコーディネーションを担当した、グラフィックデザイナー林唯哲が、台湾ブックデザインの魅力について語ります。

■日時:5月14日(土) 14:00～15:30(13:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



藤崎圭一郎 林唯哲

5/17 (火) 絵本カバーで作るエコバッグワークショップと 絵本の「出版流通」の話

講師:山口 堅太郎(好学社)

レオ・レオニなど芸術性の高い絵本のカバー用紙を使い、エコバッグとして生まれ変わらせるワークショップです。何故、絵本カバーを使うのか?そこには絵本の流通が関係しています。絵本の出版、流通のお話と共に楽しんでください。※大人向けの講座です。持ち物は不要です。(企画協力:好学社)

■日時:5月17日(火)14:00～15:30(13:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:40名 ■参加費:500円



「レオ・レオニカバー エコバッグ」

5/18 (水) 『万葉集』における歌の「発見」 ー二十巻のテキストがあらしめたもの

講師:神野志 隆光(東京大学名誉教授)

これまで『万葉集』とは、まず歌があり、それが集められ、構成されたものと考えられていました。しかし、『万葉集』が二十巻で構築されたものが、歌の世界をあらしめたのです。自分たちの固有の歌はそこではじめて見出されたという視点から、『万葉集』を全体としてとらえることに向かいます。

■日時:5月18日(水)19:00～20:30(18:30開場) ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円



5/19 (木) アガサ・クリスティの作品を通して読む イギリスの階級と社会

講師:新井 潤美(上智大学文学部教授)

クリスティの人気作品『ナイルに死す』、『鏡は横にひび割れて』そして短篇小説をいくつかとりあげ、そこに描かれているイギリスの階級の微妙な要素を読むと共に、クリスティが戦後のイギリスの社会の様々な変化を作品に書きこんでいることを見て行きます。

■日時:5月19日(木)19:00～20:30(18:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



カンタベリーの民家

こどもの読書週間in千代田区立図書館「ヨムキクちよだ2016」関連講座

5/11 (水) 子どもを育てる「読み聞かせ」
ービジネスパーソンのための実践ワークショップ

講師:児玉 ひろ美(IPIC読書アドバイザー)

どんな本を選んだらよいかわからない、抑揚はつけた方がいいの?…など絵本の読み聞かせで困ったことはありませんか?子どもの発達に合わせた選書や読み方など、実践を交えながら楽しく解決しましょう。

■日時:5月11日(水)19:00～20:30(18:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:無料



特別研究室 ミニ通信

特別研究室企画展示 『開国五十年史』にみる
明治日本の国づくり自己評価
ー総論・政治・経済編ー

▶4月19日(火)～6月19日(日)

特別研究室所蔵の大隈重信編『開国五十年史』ができた歴史的背景とその現代的な意義・価値、さらに各章執筆者の経歴などについて紹介します。また、『開国五十年史』を読むにあたり、参考になる本もあわせて展示します。



大隈重信編『開国五十年史 上・下巻』(1907年・1908年)

古文書塾 てらこや

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開講します。

- 古文書の魅力に出会う【入門コース】
筆字のくずし字を初歩から学べます。
- 古文書から見えてくる多様な世界に感動する【本科コース】
くずしの史料を読み解いて歴史の真実に迫ります。
- 歴史の躍動を感じる【特別講座】
江戸時代の様々な姿・史料を用いて、歴史の具体像を楽しみます。



	講座名	曜日・時間	開講日
入門コース (6ヶ月) 120分 全10回	古文書のいろは 筆字のくずし字	(火)13:30～	4/19
		(金)13:30～	4/22
		(金)18:30～	4/15
	いろはの次ー大江戸大変	(月)18:30～	4/11
	いろはの次ー江戸時代の海外知識	(金)10:10～	4/15

本科コース (6ヶ月) 120分 全10回	文人画と碑文一掛軸を読む	(月)18:30～	4/11
	武家文書を読む 一幕府崩壊事情	(水)13:30～	4/20
	江戸のコミック(黄表紙)と滑稽本を読む	(金)18:30～	4/8
	【翻字育成講座】国立歴史民俗博物館蔵「源氏物語 鈴虫」を読む	(木)18:30～	4/14

特別講座 (3ヶ月) 90分 全5回	大久保利通の手紙を読む	(火)19:00～	4/12
	豪商三井の発展ー三井文庫史料にみるその実像	(水)19:00～	4/13
	江戸を楽しむ ー続・江戸の寺社あれこれ	(木)18:30～	4/7
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30～	4/9

■ 会場:4階 セミナールーム(会議室) ■ 定員23名(事前申込順) ■ 参加費:【入門コース】【本科コース】各33,600円(全10回/各回120分/6ヶ月分。別途資料代1,000円)【特別講座】13,650円(全5回/各回90分/3ヶ月分。別途資料代500円)※翻字育成講座には別途テキスト 国立歴史民俗博物館蔵「源氏物語 鈴虫」(税込1,944円 2015年新典社)が必要です。(当館でのご用意も承ります)※てらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。

■ お問合せ:電話:03(3502)3340

◆ポモータ広報室より◆

4月から新入社会人・新入学生など新しい環境や新しいことへチャレンジする方が多くいらっしゃると思います。日比谷図書文化館は本や資料の閲覧のみならずPC電源を利用できる席や各種データベースの利用、ビジネススキルや芸術などセンスを磨くカレッジ、図書※を持ち込めるカフェやレストランなど皆さまの好奇心を刺激する施設です。ぜひ新しい生活の一部に「日比谷図書文化館」をご利用ください。※一部資料は除きます。